

# 全員入院 見直し 提案

## オミクロン感染 年末年始対策

政府に新型コロナウイルス対策を助言してきた専門家の尾身茂会長、国立感染症研究所の脇田隆志所長らは、「オミクロン株」としての感染が手薄になりがちだ。感染が拡大する地域で、医療現場が逼迫しないようにするねらいがある。

▼22面=オミクロン株集団感染、23面=恩抜けぬ年越

提案したのは、政府分科

会の尾身茂会長、国立感染症研究所の脇田隆志所長らは、後藤茂之厚生労働相と山際大志郎経済再生相（コロナ担当）宛てに提出した。

現在は入院により感染者を隔離している。提案書では、「オミクロン株は、従来のウイルスと同様に重症度に応じて入院が必要かどうかを判断するよう求めた。濃厚接触者全員に対し、宿泊施設に入るよう求めていた現在の方針につ

いても変更を要望。宿泊施設の確保状況に応じ、自宅での健康観察の併用も可能にする」ことを求めている。

提案書ではほかに、個々の隔離を原則とせず、デルタ株感染者との同室入院を可能とする▽現在の退院基準

は2回のPCR検査で陰性を確認することになつていいが、発症後10日間経過すれば退院を可能にする

などをあげた。脇田氏は会見で、「全員入院は（治療ではなく）隔離の目的がメ

イン。地域の医療資源は適切に配分しなければならない」と説明した。

国内で確認されたオミク

ロン株の感染者は27日時点

で計316人。市中感染も増えており、医療機関からは「軽症者が病床を埋めて

## 尾身氏ら専門家

### 無料検査に行列

年の瀬の28日、大阪市北区にある新型コロナウイルスの民間検査機関「大阪PCR検査センター梅田」の前には行列ができていた。変異株「オミクロン株」の市中感染が大阪府内で確認されたことを受け、府は24日から府民対象の無料検査を受けられるようになっただ。

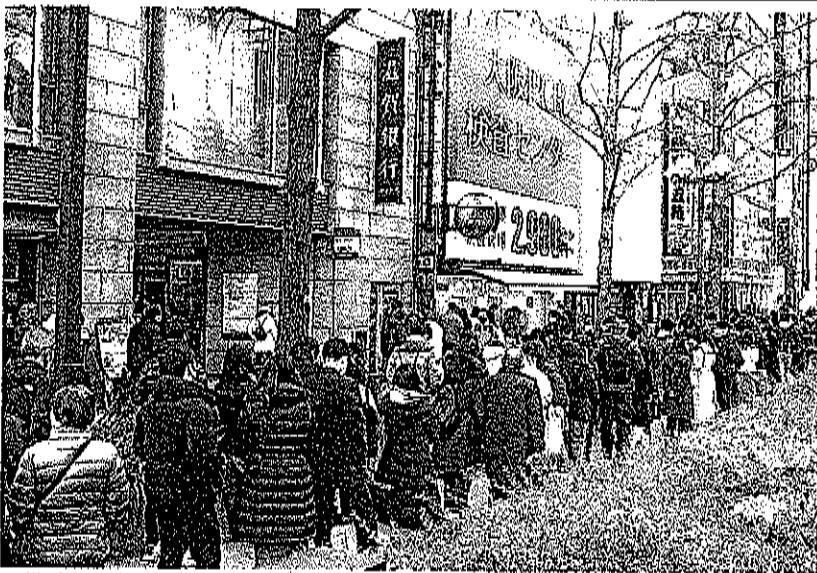
同センターの担当者は、

「検査を受ける方は10~11月ごろは1日100~300人程度だったが、今日は1千人を超す」と話した。以前は2~3人だったスタッフも倍増したという。

大阪市の40代女性は「こんなに並んでいるなんてびっくり」。関東への帰省前に検査を受けに来たという

20代男性は「家族や友人が心配しているので安心させたい」と話した。

しまわないように、入院の運用を見直す必要がある」との指摘もある。感染者と同じ飛行機に乗って濃厚接触者と判断された人は累計1万人にのぼり、宿泊施設を確保したり入所するよう求めたりする意味から、「対応しきれない」との声もあがっている。（核松佑樹）



帰省などが始まる年末年始を前に、長い行列を作つてPCR検査を待つ人たち=28日午後、大阪市北区、飯塚悟撮影